



ねんしょうだより

令和8年2月17日
川口市立舟戸幼稚園
年少組

暦の上では春となりましたが、吹く風は冷たく、暖かい春はまだ少し遠いようです。それでも子供たちは、保育室で育てているヒヤシンスのつぼみが膨らんだり、12月に植えたチューリップが芽を出したりしている様子に気付く、「ヒヤシンスの花が咲いたよ!」「見て見て!チューリップの芽が出ている!」と、小さな春の訪れを見つけることを楽しんでます。

年少組での生活も残り1ヶ月あまりとなりました。「4月になったら年中さんだね」と今から年中になることを楽しみにしている子供たちです。一人一人の成長をもう一度見つめ直し、更に充実した園生活が送れるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

劇遊びの始まりは…



毎日の絵本や紙芝居の読み聞かせを「今日は何のお話?」と楽しみにし、いろいろなお話に親しくできました。誕生会の教師の劇『てぶくろ』を見たあとは、「私も仲間に入れて」と友達と一緒に様々な動物になりきって遊んだり、絵本の読み聞かせの後には、「こんな家、吹き飛ばしてやる!」「うんとこしょ、どっこいしょ」など、お話に出てくる言葉を、友達や教師と一緒にやりとりすることを楽しんだりする姿も見られるようになりました。友達と一緒に表現して遊ぶ面白さ、イメージを膨らませる楽しさを感じられるよう、遊びの場を工夫したり、役になりきって遊ぶ姿を認めたりしました。



お話からごっこ遊びへ…

物語を「お話ごっこ」として表現する楽しさを知り、『3びきのこぶた』『てぶくろ』などでは、クラスみんなでお話に出てくる役になって、言葉のやりとりを楽しみました。その中で、子供たちはクラスの友達とイメージを合わせながら遊ぶ楽しさ、自分なりに表現する楽しさ、言葉を合わせて一緒に話す面白さなどを味わったようです。

友達と一緒に遊びながら…

たくさん読んだ絵本の中で一番のお気に入りには、『大きなかぶ』の絵本です。読み終えたあとには、自然と「うんとこしょ、どっこいしょ」と口ずさんでいました。友達と一緒におおきなかぶをつくると、「うんとこしょ、どっこいしょ」と引っ張ったり、好きな動物のお面をつくって遊んだり、好きな遊びの中で『大きなかぶ』への興味や愛着が高まってきました。そこで、クラスみんなで『大きなかぶ』のお話ごっこを進めていくことにしました。教師も仲間入りをしながら、お話ごっこを進めていくと、子供たち一人一人がお話をイメージし、自分なりの言葉や動きで表現するようになってきました。

いろいろな役を交代しながら、一人一人が思いをのびのびと表現していけるよう援助し、クラスみんなで一つのことに取り組む楽しさや満足感を味わえるようにしました。

いよいよ劇遊び!

年長組や年中組の劇遊びを見せてもらったり、年少組の劇遊びを見てもらうことで見てもらう嬉しさを感じ、「ママも“てぶくろ”みたいって言ってるよ」「いろんな人に見てもらいたいね」「お家の人にも見せたいね」と、子供たちは、お家の人に見てもらおうことを楽しみにしています。

当日は、劇遊びを楽しんでいる一人一人の姿をぜひ見て頂きたいです。緊張したり、不安を感じたり興奮してしまったりと、子供たちは様々な姿を見せることもあるかと思います。どの姿も一人一人の思いの表れと受け止め、また今までの取組を十分にご理解頂いて、最後まで温かい目で見守り、大きな応援の拍手をよろしくお願ひいたします。

この劇遊びをきっかけに、クラスみんなで一つのことに取り組んだ満足感を十分に味わい、進級に向けての大きな自信と期待につなげていきたいと思っています。

幼児期の終わりまでに育ててほしい姿の『協同性』『健康な心と体』『言葉による伝え合い』『思考力の芽生え』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

